○ 消費・安全対策交付金のうち

水稲におけるカドミウム及びヒ素濃度低減技術の実証・普及

【令和６年度予算概算決定額 1,720（2,006）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

コメ中のカドミウム国内基準値への対応状況やヒ素国際基準値の設定を踏まえ、より安全な農作物の供給体制の確立に向け、**水稲のカドミウム及びヒ素濃度低減対策を推進**します。

＜事業目標＞

水稲におけるカドミウム・ヒ素濃度低減技術を**都道府県の３割以上**で導入[令和７年度まで]

＜事業の内容＞

【背景】

・ コメ中ヒ素濃度の国際基準値の設定を受け、国内基準値の設定の可能性が高まる中、コメ中ヒ素低減対策を確立することが必要です。

・ また、農地土壌汚染に由来するコメ中カドミウムの低減対策としてこれまで実施されてきた湛水管理では、逆にヒ素がコメに吸収されやすいことが知られています。

このため、コメ中のカドミウムとヒ素の双方への対策が必要となる地域では、これらを同時に低減する対策の確立が必要です。

【支援内容】

１．カドミウムとヒ素の同時低減対策の確立

カドミウムをほとんど吸収しない**「カドミウム低吸収性イネ」と水管理等を組み合わせたカドミウム及びヒ素濃度低減技術の実証試験**や、実証結果を踏まえた**カドミウム低吸収性イネ及びヒ素濃度低減技術の普及体制の構築**を支援します。

２．ヒ素濃度低減対策の確立

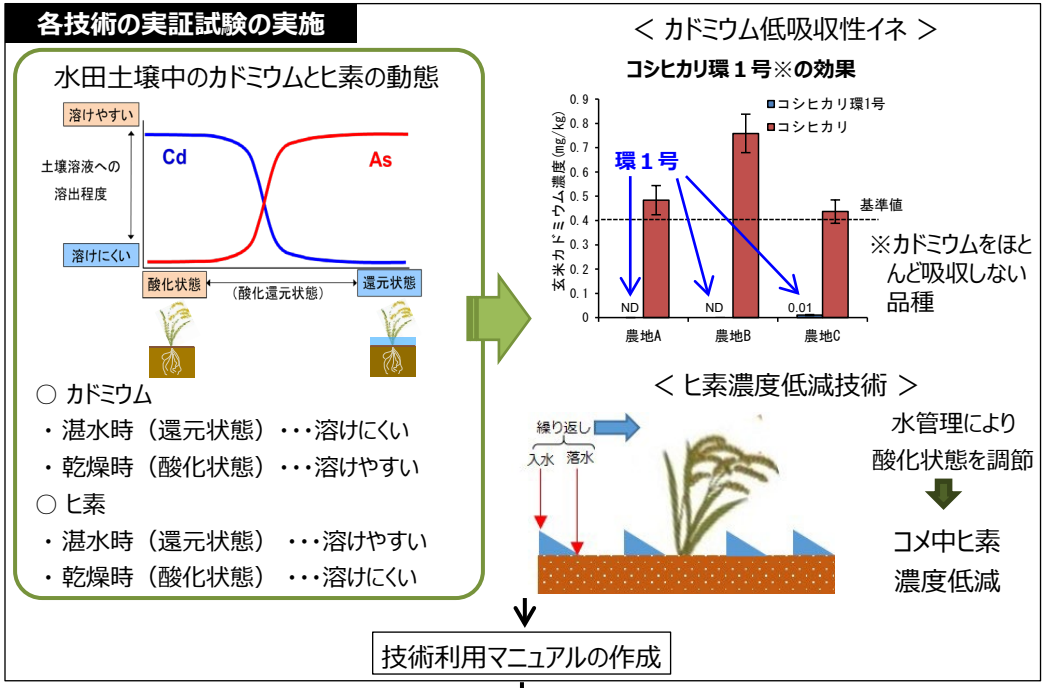
水管理等による水稲におけるヒ素濃度低減効果と生育・収量等の両立に向けた実証試験や、実証結果を踏まえた**ヒ素濃度低減技術の普及体制の構築**を支援します。

＜事業の流れ＞

交付
（１の事業のうち技術の実証試験の実施：10/10）
（１の事業のうち技術の普及、２の事業：１/２以内）

国 → 都道府県等 → 市町村、農業者団体等

＜事業イメージ＞



各技術の普及
・実証技術の導入・周知のための検討会の開催
・技術利用マニュアルに基づく展示ほの設置・運営

コメ中カドミウム及びヒ素濃度低減対策の確立

［お問い合わせ先］農産局農業環境対策課　（03-3593-6495）